

愛

するあの人は、

私に暴力を振るうのか

ジェンダーの視点からパートナー関係を考える

なぜ？

12月4日(金)

19:00~21:00

札幌エルプラザ公共施設
環境研修室

講師: 吉岡 俊介 さん(オフィスよしおか 代表)

川畑 智子 さん(北海道大学高等教育推進機構高等教育研究部門 特任准教授)

会 場: 札幌エルプラザ公共施設 2階 環境研修室 (札幌市北区北8条西3丁目)

参加費: 800円 (当日受付時にお支払いいただきます)

定 員: 40名

申 込: 札幌市男女共同参画センター事業係まで電話またはEメールで申込

☎ 011-728-1255

✉ jigyoun@danjyo.sl-plaza.jp →

※5ヵ月~就学前幼児まで託児をご利用いただけます(定員10名・先着順)
ご希望の方は、講座申込と同時に12月1日(火)までにお申込みください。

主 催: 札幌市男女共同参画センター



愛

するあの人は、
私に暴力を振るうのか



ジェンダーの視点からパートナー関係を考える

DV=ドメスティックバイオレンス。

配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった人から振るわれる暴力。

あってはならない「暴力」です。

それが起こってしまう事実の根底には、いったい何があるのでしょうか——

暴力と「性別役割」との関係性や、パートナー間で力関係が生まれる構造などを知り、地域や社会で取り組めること、すべきことについて、一緒に考えましょう。

プログラム

第1部 講演

「男性相談の現場から考える、男性役割と暴力性」

講師：吉岡 俊介さん (オフィスよしおか 代表)

- ◆相談の現場から見える、男性の抱える悩みの特徴
- ◆DVなど暴力の加害者男性の心理的状況
- ◆DVなど暴力の加害者男性への実際の対応

第2部 対談

「ジェンダーの視点からパートナー関係を考える」

吉岡 俊介さん (オフィスよしおか 代表)

川畑 智子さん (北海道大学高等教育推進機構高等教育研究部門 特任准教授)

- ◆男性役割と暴力性、攻撃性の関係性
- ◆男女間の力関係が生じる社会的構造
- ◆パートナー間でできること、地域や社会がすべきこと



吉岡 俊介さん
オフィスよしおか 代表

1954年生まれ。2001年に大手損害保険会社を早期退職後、大阪のメンズセンタースタッフとして勤務し、男性学、男女共同参画、フェミニズムなどを学びながら男性の悩み相談に携わる。その後、近畿を中心に各地の自治体において男性相談窓口の開設支援や相談員として関わる。2007年に「オフィスよしおか」を設立し、個人でもカウンセリング・ルームを開業。著書に『つづれない働き方の教科書』(彩図社)、『チビポテトシンドローム』(講談社)など。NHK「福祉ネットワーク」に男性問題の解説者としても出演。シニア産業カウンセラー、キャリアコンサルタント。



1966年札幌生まれ、北海道育ち。専門分野は、ジェンダーの社会学。「暴力はなぜ反復するのか」という問いをもって研究中。北海道大学では新渡戸カレッジ関連科目を担当し、日本人学生と留学生が共に学ぶ授業を担当。現在、科学研究として全国の大学からハラスメント予防に関する資料の分析や関係者の聞き取り調査を展開中。

川畑 智子さん

北海道大学高等教育推進機構高等教育研究部門 特任准教授

主 催：札幌市男女共同参画センター
(指定管理者：公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会)

札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ内
電話：011-728-1255 FAX：011-728-1229
mail：jigy@danjyo.sl-plaza.jp
ホームページ：http://www.danjyo.sl-plaza.jp/